

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ

大阪市立自然史博物館
学芸課学芸員 石田 惣
電話 06-6697-6222

「大阪自然史フェスティバル 2012」

開催のご案内

大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル 2012」を関西文化の日である平成 24 年 11 月 10 日（土）、11 月 11 日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、自然関連のサークル、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展するお祭りです。サークル・団体の活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪の自然の現状や自然に関わる楽しさを知っていただくイベントです。

今回は、新たに大阪生物多様性保全ネットワークも主催に加わり、「生物多様性協働フォーラム」を同時開催します。「買って支える自然 ～都市の暮らしと生物多様性～」をテーマとし、食料や資源などの生物多様性の恩恵を受けている都市での暮らしと生物多様性のかかわりについて、「グリーンエコノミー」という観点を交えながら、大切な生産地とのつながりを企業や NGO などの方々とともに考えます。

「大阪自然史フェスティバル」は、2003 年、2004 年、2006 年、2009 年、2011 年と過去 5 回開催し、2007 年、2010 年にはテーマを鳥に絞った「大阪バードフェスティバル」、2008 年は、関西自然保護機構創立 30 周年を記念して企画した「かんさい自然フェスタ」と、さまざまなフェスティバルを実施してきました。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は 1 万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。

今回も自然に興味のある多くの方々の来場をお待ちしております。

○ご取材にお越しの方は 7 ページの取材申込書にて FAX でお申込下さい。

○広報用写真をご用意しています。8 ページの広報写真申込書も FAX でお申込下さい。

記

1. 名 称：「大阪自然史フェスティバル2012」
2. 期 間：平成24年11月10日（土）、11月11日（日）
3. 会 場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23（長居公園内）
TEL 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入 場 料：無料
※平成24年11月10日・11日ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。

5. 開催時間：午前9時30分から午後4時30分（ただし両日とも入館は午後4時まで）

6. 開催内容

◆ブース展示（両日とも開催）

本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。水槽での生き物展示もあります。

◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆ 講習会

「叶内拓哉の野鳥撮影講座」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、作例写真を見ながら撮影のエピソード、野鳥撮影の楽しみや撮影のノウハウをお話していただきます。

日時：11月10日（土） 11：30～13：00

参加費：無料

主催：コーワ

「はじめての鳥みたい（隊）」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。

日時：11月11日（日） 10：30～12：00、13：30～15：00

参加費：無料

定員：各回30名

主催：日本野鳥の会大阪支部

◆講堂プログラム

<11月10日(土)>

日本野鳥の会大阪支部 75周年記念特別講演

創立75周年を迎える日本野鳥の会大阪支部の歴史を振り返り、これからの鳥と人の未来を考えます。

日時：11月10日(土) 13:30~16:10

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

定員：260名(当日午前11時から会場前で整理券を配付)

スケジュール：

13:30 開会の挨拶(日本野鳥の会大阪支部長 橋本正弘氏)

13:35 講演「日本野鳥の会大阪支部75年のあゆみ」(日本野鳥の会大阪支部幹事 納家 仁氏)

14:00 特別講演「確かな未来は懐かしい風景の中にある」(日本野鳥の会会長 柳生 博氏)

15:10 休憩

15:20 ディスカッション「鳥たちの未来と私たちの暮らし」柳生会長と橋本支部長がこれからの野鳥保護を語る

16:10 閉会の辞(日本野鳥の会評議員 平 軍二氏)

<11月11日(日)>

団体基盤整備研修「長続きする団体運営とは：経営の視点を取り入れよう！」

NPOやNGOなどの形態で活動する団体向けに、組織を自立的に運営していくために必要な経営手法についての研修を行います。

日時：11月11日(日) 10:30~12:00

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

講師：認定特定非営利活動法人大阪NPOセンター 理事兼事務局長 山田裕子氏

主催：大阪生物多様性保全ネットワーク

第5回生物多様性協働フォーラム「グリーンビジネスでつなげる「都市の生活」と「生物多様性」

自然資源の持続的な利用と経済活動を両立させる「グリーンエコノミー」の観点から、都市で暮らす消費者と生産者との関わりや生物多様性保全のあり方について考えてみます。

日時：11月11日(日) 13:00~15:30

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

基調講演「実現できるか!? グリーンエコノミー」

講師：京都大学経済研究所 准教授 佐藤正弘氏

パネルディスカッションも予定

主催：大阪生物多様性保全ネットワーク、生物多様性協働フォーラム事務局

7. 主 催：

特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館、大阪生物多様性保全ネットワーク、関西自然保護機構

8. 協 賛：

社団法人日本望遠鏡工業会、株式会社ガードフォースジャパン、株式会社ケンコー・トキナー、コーワ、株式会社ニコイメージングジャパン、株式会社阪神交易、株式会社ビクセン、協栄産業株式会社、株式会社アクアテイメント、有限会社エンウィット、認定NPO法人生態工房、株式会社文一総合出版、株式会社レイマー

9. 協 力：生物多様性協働フォーラム事務局、日本野鳥の会大阪支部

10. 出展団体：大阪周辺の自然観察団体など106団体（予定）

株式会社アクアテイメント、芥川倶楽部、芥川緑地資料館あくあびあ芥川、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、茨木・高槻自然に親しむ会、靱公園自然研究会、えぼしがた公園自然観察会、有限会社エンウィット、大阪市、財団法人大阪市環境事業協会、公益社団法人大阪自然環境保全協会、公益社団法人大阪自然環境保全協会堺自然観察会、公益社団法人大阪自然環境保全協会里山委員会&ナチュラルリスト入門講座、大阪市立自然史博物館友の会、大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪石友会、大阪府、財団法人大阪府みどり公社大阪府地球温暖化防止活動推進センター、大阪変形菌おっかけ隊、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、岡山コケの会（関西）、乙田休耕田クラブ、株式会社ガードフォースジャパン、橿原市昆虫館友の会、Cafe Pitwu かふえびとう、河内長野野鳥の会、川西自然教室、関西自然保護機構、関西バードカービングクラブ、きしわだ自然資料館、きしわだ自然友の会、岸和田市立光陽中学校科学部、協栄産業株式会社、NPO法人共生の森、恐竜愛好会ジュラシックパー君、近畿植物同好会、近大ホネホネ団、株式会社ケンコー・トキナー、財団法人公園緑地管理財団 Project WILD 事務局、神戸市立須磨海浜水族園ボランティア、神戸の植物化石を考える会、コーワ、国際自然保護連合日本委員会（IUCNJ）協力：生物多様性かんさい、こども昆虫塾&ジュニア昆虫科学セミナー、堺市、雑魚寝館、静岡科学館・く・る、自然のみかた研究会、自然エネルギーを推進する会、しだどこけ談話会、シニア自然大学、信太の森FANクラブ、ジュニア自然史クラブ、吹田ヒメボタルの会、社団法人生態系トラスト協会、認定NPO法人生態工房、生物多様性とくしま会議、全国カヤネズミ・ネットワーク、泉北野鳥の会、そよごの会・地域自然観察会、WWF-関西有志の集い、チーム：売る声人、TEAM 魚っしょい！、地学団体研究会 大阪支部、地球館パートナーシップクラブ、特定非営利活動法人東洋蝙蝠研究所、徳島県、徳島大学環境防災研究センター、都市の自然調査グループproject U、友の会読書サークルBooks、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会、NACS-J自然観察指導員大阪連絡会、NACS-J自然観察指導員奈良連絡会、なにわホネホネ団、奈良植物研究会、株式会社ニコイメージングジャパン、西宮市貝類館、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク、西宮市きのこクラブOB会、西淀自然文化協会、ニッポンバラタナゴ高安研究会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、社団法人日本望遠鏡工業会、日本野鳥の会大阪支部、日本野鳥の会京都支部、日本ワイルドライフアート協会、寝屋川市自然を学ぶ会、浜寺公園自然の会、株式会社阪神交易、株式会社ビクセン、兵庫県立淡路景観園芸学校／兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科、兵庫県立人と自然の博物館、琵琶湖博物館はしかけ ほねほねくらぶ、株式会社文一総合出版、公益財団法人益富地学会館、まち中公園自然観察隊、招き鳥の巣、南大阪昆虫同好会、南河内水生生物研究会&パートナーシップ団体、虫いっぱい里山づくり隊、NPO法人やましろ里山の会、淀川自然観察会、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク、株式会社レイマー（50音順）

11. 問合せ

大阪自然史フェスティバル事務局

(特定非営利活動法人大阪自然史センター内)

TEL : 06-6697-6262 FAX : 06-6697-6306

e-mail: fes2012@mus-nh.city.osaka.jp

「大阪自然史フェスティバル 2012」公式 web サイト

<http://www.omnh.net/npo/fes/2012/>

◆ 広報用提供写真

1. 会場内の出展ブースの様子
(ネイチャーホール)



4. 日本野鳥の会大阪支部による
バードウォッチング入門講座



2. 会場内の出展ブースの様子
(玄関ポーチ)

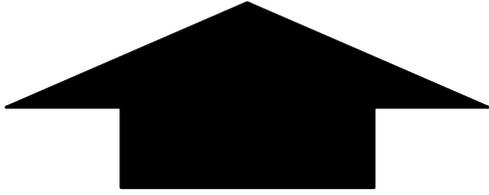


5. 大阪市立自然史博物館友の会による
博物館ビオトープでの畑作業体験



3. 自然の素材を使った工作体験
(イメージ)





F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

「大阪自然史フェスティバル2012」

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、ビデオ、カセット、MD など）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

取材申込書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	平成24年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	

